

ちよつとだけわかる日本美術



小林古径《牡丹(紅)》昭和19(1944)年頃

水墨美術館編

2026年11月20日(金) — 2027年1月17日(日)

開館時間＝午前9時30分～午後6時(入室は午後5時30分まで)

※初日は、開会式終了後に一般オープンとなります。

休館日＝月曜日(11月23日、1月11日は開館)、

11月24日(火)、年末年始(12月29日～1月3日)、1月12日(火)

富山新聞復刊80年記念

主催＝富山県水墨美術館、富山新聞、北國新聞社、富山テレビ放送

富山県水墨美術館

THE SUIBOKU MUSEUM, TOYAMA



上段：木村立嶽《唐獅子図屏風》明治時代 東亜薬品株式会社蔵 中段：石崎光瑤《花鳥の図》昭和10(1935)年 菱田春草《竹林》明治42(1909)年頃 簗牛人《老子出関の図(部分)》昭和44(1969)年
下段：狩野探幽《花鳥図屏風》制作年不詳

平成11(1999)年の開館以来、当館では主に明治以降の水墨画・日本画や、富山ゆかりの作品を中心として継続的に収集を進め、保管し展示しています。

今回は、当館を知らない人でも楽しめる、ガイドブックのような展覧会を開催します。美術作品を構成する材料や作品の裏側、さらには日本美術史の流れなどを、水美のコレクションを通して、これまでになかった視点から深堀していきます。その中でも、これは見逃したらもったいない！という水墨画・日本画や、普段はあまり展示室に並ばない工芸や刀剣類まで、バリエーション豊かな約40点を展示します。本展が、皆様と日本美術との距離をちょっとだけ近づける機会となり、水美により親しんでいただくきっかけとなれば幸いです。

ミュージアムコンサート「和の音彩」

12月5日(土) 午後2時から
○出演：胡恋風(胡弓・本田麻優美、ピアノ・東海和代)
※申し込み不要 ※鑑賞無料

担当学芸員によるギャラリートーク

11月22日(日)、12月12日(土)、1月9日(土) 各日午後2時から
○講師：当館学芸員 ○会場：展示室1・2
※申し込み不要 ※聴講無料
※当日有効の本展観覧券が必要です。

関連行事の内容等については、
当館のウェブサイトや公式SNS等でお知らせします。
最新情報をご確認ください。

観覧料 一般 600(450)円 大学生 300(200)円 前売一般 450円

※()内は20人以上の団体料金 ※本展会期中、常設展も観覧できます。 ※小・中学生、高校生及びこれらに準ずる方、各種障がい者手帳等をお持ちの方の観覧は無料です。
※大学生券に該当する人の詳細については、ウェブサイト等でご確認ください。

〈前売券販売所〉 富山県水墨美術館、富山県美術館、アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール) ※2026年11月19日(木)まで販売

常設展示 水墨表現にみる近代日本画・下保昭作品室
(本展会期中、本展の観覧券でご覧いただけます)

館内施設 ○茶室「墨光庵」
※初日、土日祝の午前11時～午後4時に営業 ※12～2月は冬季休業
○ミュージアムショップ「風花」 ○喫茶「自家焙煎・水出し珈琲」水の時計」

次回企画 黄鐘の聲を尋ねて 松原賢 2027年2月5日(金)より

交通のご案内 【富山駅南口から】○市内電車(大学前行)「トヨタモビリティ富山 Gスクエア五福前(五福末広町)」下車、徒歩約10分 ○地鉄バス④乗場から10、14、16系統「五福末広町」下車、徒歩約10分/⑦乗場から各系統「烟中」下車、徒歩約10分(最新の運行は富山地方鉄道ウェブサイトにてご確認ください。) ○タクシー約10分 【富山空港から】タクシー約25分 【北陸自動車道】富山IC、富山西ICから自動車約20分 【無料駐車場】乗用車165台、バス7台

富山県水墨美術館

THE SUIBOKU MUSEUM, TOYAMA

〒930-0887 富山県富山市五福777
Tel: (076) 431-3719 Fax: (076) 431-3720
<https://www.pref.toyama.jp/1738/>

